



## 愛・地球博「開会式」 主な出演者プロフィール

### <第1部「式典」>

佐藤しのぶ(さとう しのぶ)

ソプラノ歌手。若くして「椿姫」に抜擢され、鮮烈なデビューを飾る。抜きんてた歌唱、迫真の演技、そして華麗な舞台姿は人々に圧倒的な感銘を与え、マスコミでも百年に一度の大器と絶賛される。98年に「蝶々夫人」でウィーン国立歌劇場主役デビューを飾ったのち、ケルン市立歌劇場やベルリン・ドイツ・オペラなどでも主役を歌っている。文化放送音楽賞、都民栄誉章、ジロー・オペラ賞大賞、マドモアゼル・パルファム賞、日本文化デザイン賞大賞などを受賞。

Y O S H I K I

元X JAPANのリーダー(Drum, Piano)およびプロデューサーであり、日本のロックシーンにおけるカリスマ的なアーティスト。日本国内でのレコードセールスはX JAPANとして2,100万枚以上、YOSHIKIがプロデュースした作品の総セールス枚数は5,000万枚を超える。

愛・地球博では公式イメージソング「I'LL BE YOUR LOVE」の作詞・作曲を担当している。

渡辺貞夫(わたなべ さだお)

音楽家。2005年日本国際博覧会 政府出展事業 総合監督。18歳で上京後、秋吉敏子のコージー・カルテットをはじめ数々のバンドへの参加、バークリー音楽大学への留学などを経て、日本を代表するトップミュージシャンとしてジャズの枠に留まらない独自のスタイルで国内はもちろん世界を舞台に活躍。

### <第2部「愛・地球シンフォニー」>

イングリッド・フジ子・ヘミング

ピアニスト。日本人ピアニスト、大月投網子とロシア系スウェーデン人建築家、ジョスタ・ジョルジ・ヘミングを両親にベルリンで生まれる。レオニード・クロイツァーに師事、NHK毎日コンクール賞他、受賞多数。アルバム『奇跡のカンパネラ』『憂愁のノクターン』で、クラシックでは史上初の快挙となる2年連続「日本ゴールドディスク大賞 クラシック・アルバム・オブ・ザ・イヤー」を受賞、そして04年『フジ子・ヘミングの奇蹟～リスト&ショパン名曲集』で再び同賞を受賞する。

宮内真理子(みやうち まりこ)

バレエ・ダンサー。長野バレエ団にて3歳よりバレエを始める。87年東京シティバレエ団研究所、90年英国バーミンガムロイヤルバレエ団、92年アメリカコロラドバレエ団に入団。翌年、同バレエ団のプリンシパルに昇格。99年新国立劇場バレエ団入団。ローザンヌ賞スカラシップ('89)、ジャクソンバレエコンクール銅賞('94)、村松賞('94)、中川鋭之助賞('99)、芸術選奨文部大臣新人賞('00)、橘秋子賞優秀賞('00)など受賞多数。



< 第3部「ようこそ、愛・地球博」 >

神田山陽（かんだ さんよう）

講談師。90年二代目 神田 山陽に入門、前座名「北陽」。同年より落語芸術協会にて前座修行。94年二ツ目に昇進。01年師匠二代目山陽死去により、松鯉門下へ。02年真打に昇進、同時に三代目「山陽」を襲名。国立演芸場主催花形演芸会銀賞、文化庁芸術祭新人賞、彩の国落語大賞特別賞などを受賞。現在、NHK「にほんごであそぼ」、NHK「ふるさと皆様劇場」、CM「日本酪農乳業協会」の出演のほか、全国のホールでの独演会、TV・ラジオ・CMに出演。

KONISHIKI

米国ハワイ州オアフ島生まれ。82年ハワイ大学付属高校卒業後、高見山（現在の東関親方）にスカウトされ、高砂部屋に入門。87年大関に昇進。89年幕内初優勝。97年11月場所を最後に引退。その後、天性の音感とリズム感、明るいキャラクターをいかし、タレントに転身。ハワイアンライブ、トークショー、CM、TV番組などを中心に活躍。ボランティア活動にも積極的で、97年KONISHIKI基金を設立。阪神・淡路復興キャンペーンを展開したほか、毎年ハワイの子どもたちを日本に招いて日本の子どもたちと交流させる、KONISHIKI KIDS PROGRAMを主宰。

西川千雅（にしかわ かずまさ）

日本舞踊西川流師範。名古屋市生まれ。西川右近（現・西川流三世家元）の長男。75年名古屋をどり（於・中日劇場）「ある秋の日」にて初舞台。85年「名古屋をどり」北米公演、85年モナコ王国主催の舞踊会に参加。87年名古屋国際学園卒業。92年米国ニューヨーク市 School of Visual Arts 卒業。00年ドイツ・ハノーバー万博にてBIE主催閉会催事で日本代表として舞踊を披露。現在、東海学園大学・経営学部（愛知県三好町）人文学部（名古屋市）にて日本舞踊を正科目として指導。

野村小三郎（のむら ことぶろう）

狂言師。狂言なりのり座所属。名古屋市生まれ。十二世野村又三郎の嫡男。父に師事。76年「靱猿」の小猿にて初舞台。東京芸術大学音楽学部邦楽科卒業。第10回TARG賞（文化部門）、第18回松尾芸能賞新人賞（演劇部門）を受賞。愛知県立芸術大学非常勤講師。

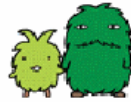
浜崎あゆみ（はまさき あゆみ）

1998年「poker face」でavex traxからデビュー。初のオリジナルアルバム「A Song For XX」がオリコン初登場で1位を獲得、100万枚を超えるセールスを記録。「自分の体験や友達の体験したことなどを客観的に捉え、正直な気持ちを言葉にして詩を書いていきたい」と本人が語るように、作詞を自ら手がけている。「Love ~Destiny~」で自己ベストを記録。その後、アルバム「LOVEppears」は270万枚を突破、アーティストとしてだけでなく、若者の音楽やファッションのリーダーとしての確固たる地位を築いている。

尚、3/24には今回の開会式のプロデューサーでもある、佐渡裕とコラボレーションしたクラシックアルバム『MY STORY CLASSICAL』をリリースする。

森山良子（もりやま りょうこ）

日本ジャズ界のバイオニア森山久の長女。67年「この広い野原いっぱい」でデビュー。その後、ミリオンセラー「禁じられた恋」をはじめとする数々のヒット曲を発売。透明感のある歌声と歌唱力で、名実ともに日本のトップシンガーに。国内にとどまらずニューヨークカーネギーホール、フランクフルト、ソウル、ロサンゼルスなど海外でもコンサート活動を続ける。第44回日本レコード大賞で、最優秀歌唱賞、金賞及び「涙(なだ)そうそう」で作詞賞を受賞し3冠を達成した。シングル57枚 アルバム71枚を発表、コンサ-ト延べ回数2700本を数える（2005.2現在）。



演奏 / EXPOスーパーワールドオーケストラ

21世紀最初の万博の幕開けにふさわしいグローバルな「開会式」とするために、世界トップランクのオーケストラのコンサートマスター、首席奏者を中心とした俊英たち約100名で特別編成した夢のオーケストラ。指揮は佐渡 裕、コンサートマスターはウィーンフィルのフォルクハルト・シュトイデが務める。

(メンバーが所属する主なオーケストラ)

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン国立歌劇場管弦楽団、ウィーン交響楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ベルリン交響楽団、バイエルン放送交響楽団、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、ロンドン交響楽団、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、サンタ・チェチリア管弦楽団、スペイン放送交響楽団、フィンランド放送交響楽団、デンマーク国立放送交響楽団、フィラデルフィア管弦楽団、香港フィルハーモニー管弦楽団、韓国交響楽団、上海交響楽団、台北フィルハーモニー管弦楽団、マレーシア・フィルハーモニー管弦楽団のほか南アフリカや南米のオーケストラ。

日本からは、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団などのメンバーが参加。



## プロデューサー・チーム

総合演出 / 岡崎 栄 (おかざき さかえ)

演出家、脚本家。53年日本放送協会入局、広島局赴任。57年東京芸能局、76年スペシャル番組部に配属。87年よりNHKエンタープライズ21に勤務。NHKでの主な作品は「天と地と(69年)」、「天下御免(71年)」、「マリコ(81年)」、「大地の子(95年)」など。芸術選奨、放送文化功労賞、紫綬褒賞など受賞多数。04年旭日小綬章受章。

音楽：指揮 / 佐渡 裕 (さど ゆたか)

指揮者。89年「ブザンソン国際指揮者コンクール」で優勝。1995年には「第1回レナード・バーンスタイン・エルサレム国際指揮者コンクール」に優勝し「レナード・バーンスタイン桂冠指揮者」の称号を得た。これまでにフランス演劇音楽批評家協会から「レヴェラシオン・ムジカル・ド・ラネー賞」をうけたほか、数々の賞を受賞している。現在、パリのコンセル・ラムルー管弦楽団首席指揮者を務める他、世界中の一流オーケストラを毎年多数指揮している。

音楽：作曲・編曲 / 渡辺俊幸 (わたなべ としゆき)

名古屋市生まれ。作曲家。79年渡米後、バークリー音楽院にて作編曲技法を、ボストンコンサーバトリーにて指揮法を学ぶ。帰国後、作曲家として数々の映画、テレビドラマ、アニメーション等の音楽を担当。最近の代表作として、東宝映画「サトラレ」、「解夏」、NHK大河ドラマ「毛利元就」、「利家とまつ」、NHKドラマ「大地の子」、純音楽的作品「交響的幻想曲 能登」がある。「リング～最終章～」が第20回ザ・テレビジョン ドラマアカデミー賞、劇中音楽賞受賞。

メディアアート / 岩井俊雄 (いわい としお)

メディアアーティスト。愛知県生まれ。東京大学 先端科学技術研究センター特任教授。実験アニメーション制作から、コンピュータを使った作品制作へと移り、以後国内外の多くの美術展にインタラクティブな作品を発表する。またTV番組のキャラクター・CGシステムのデザイン、ゲームソフトの制作も手がける。97年、坂本龍一とのパフォーマンスでアルスエレクトロニカ・フェスティバル インタラクティブアート部門のグランプリを受賞。

コスチューム / ひびのこづえ

コスチュームアーティスト。東京芸術大学美術学部デザイン科視覚伝達デザイン卒業。97年より作家名を内藤こづえより、ひびのこづえに改める。88年にコスチューム・アーティストとしてデビューして以来、雑誌やポスター、テレビコマーシャル、ダンス、バレエ、映画などその発表の場は、多岐にわたっている。現在、NHK教育テレビ「にほんごであそぼ」「からだであそぼ」の衣装・セットデザインを担当。